
早稲田大学 ライティング・センター

Waseda University Writing Center



Waseda University

本日の内容

① 「学術的文章の作成02」の説明

② ライティング・センターの紹介



グローバルエデュケーションセンター科目

「学術的文章の作成02」とは？

- レポートや論文などの学術的な文章を作成するために必要な基礎的な技能を身につけるための授業です
- みなさんは自宅や大学のパソコンから授業を視聴します（オンデマンド形式）
- 政治経済学部のみなさんは**必修科目として自動登録されています**



授業の流れ

- 毎週、授業を視聴し、授業内容を反映させた400字または600字の文章を書いて提出します
- 提出された文章は訓練を受けた指導員によりコメントと評価点がつけられ、個別に返却されます
- この授業は夏クォーターから開始されますので、第1回の授業は**6月6日（土）**から配信されます

忘れずに視聴するようにしましょう！



指導員からの フィードバック のイメージ

回	題名
【第4回】	高校生のアルバイト —高校生が本当にやるべきこと—
***** ○○ ○○	
本レポートでは高校生が在学中にアルバイトを行う必要があるかどうかについて論じていく。また、高校生が本当にやるべきことについても追究していく。	
はっきり言って高校生がアルバイトをする必要はないであろう。しかし、アルバイトからでしか得られない社会経験があるという声も多い。たとえば、時間厳守の概念である。雇われれば高校生は社会における時間の厳しさを体験から学ぶことができる。他には言葉遣いや礼儀等である。しかし、これらは全部、真面目に高校生活を送れば身につくものである。高校では部活動等の課外活動もある。それに、体育祭や文化祭は生徒が中心となって企画をしていく。それらを一生懸命取り組むことにより、十分な社会経験を積むことができる。それに、アルバイトは高校を卒業してからもすることができる。高校生の間は高校生としてやるべきことを一生懸命やるだけで十分であろう。	
以上のことから、高校生がアルバイトをする必要はないと言えるであろう。高校生は高校生活を十分に満喫すべきである。	
コメント欄	履修者のコメント
自分の結論が世間とは反対の高校生はアルバイトをする必要がないというインパクトの強いものなので、結論を本論の最初に持ってきて強調するようにした。結論の内容から、後々序論の内容を変形させ、文字数を調節した。前回に引き続き、語尾と一文一義と接続語も意識した。	
指導員 氏名	
評価のポイントと評価点	指導員 (# # # #)
評価ポイントと評価点は、以下のとおりです。 3 / 3点 ①序論で文章の目的を明確にする 2 / 3点 ②序論で述べた、文章の目的を本論で達成させる 3 / 3点 ③序論と結論が呼応するようにする 1 / 1点 ④形式を整えて書く (第1回参照) 1 / 1点 ⑤一文一義で書く (第2回参照) 1 / 1点 ⑥自分が特に注意を払った点またはコメントに対する感想をコメント欄に書く	
「序論・本論・結論」という構成の仕方が、よく理解されています。第3回までの学習項目も、よく押さえられていると思います。「はっきり言って」という表現は、学術的文章には合わない表現なので、避けたほうがよいでしょう。	
[12 点中 11 点]	
400字から600字の文章	
指導員のコメント	
コメント [YM1]: 目的が明確に示されています。「について」が二度使われていますが、どちらも不要ではないでしょうか。	
コメント [YM2]: 「はっきり」は話し言葉的な表現なので、避けたほうがいいでしょう。なぜ「必要はない」と言えるのかも、説明しなければ、わかりません。	
コメント [YM3]: 「に」の誤りではないですか。	
コメント [YM4]: 「本当にやるべきことについて」の「追究」に対する答えが「やるべきことを一生懸命やるだけで十分」というのでは、少しずれているように思います。結論の段落にある「高校生活を十分に満喫すべき」が、本当の結論なら、本論でも述べておく必要があるでしょう。(- 1)	
コメント [YM5]: 「高校生活を十分に満喫する」という言葉は、本論にないので、何をすることを指すのか、よくわかりません。結論は、本論で述べたことを繰り返す形で、目的(問い)に対する答えをまとめましょう。	
配点/減点	
指導員のコメント	
評価点	

2020年度の授業スケジュール（予定）

第1回	学術的な文章とは	6/6（土）	～	6/12（金）
第2回	文を整える	6/13（土）	～	6/19（金）
第3回	語句を明確に使う	6/20（土）	～	6/26（金）
第4回	全体を構成する	6/27（土）	～	7/3（金）
第5回	論点を整理する	7/4（土）	～	7/10（金）
第6回	参考文献を記す	7/11（土）	～	7/17（金）
第7回	引用をする1	7/18（土）	～	7/24（金）
第8回	引用をする2	7/18（土）	～	7/31（金）



本日の内容

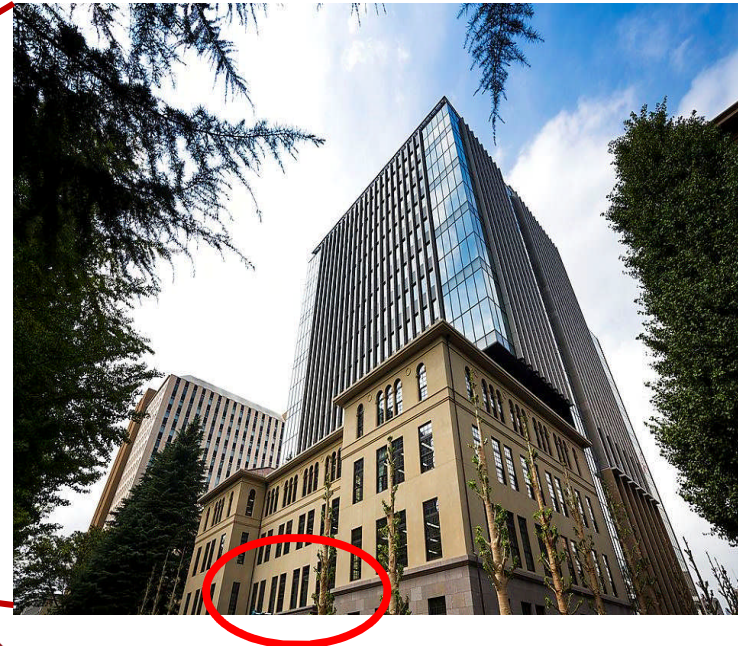
① 「学術的文章の作成02」の説明

② ライティング・センターの紹介



ライティングセンター利用のすすめ

- 「学術的文章の作成⁰²」の課題で困ったり、レポートや論文をどう書いてよいのか不安に思ったりしたならば、ぜひライティングセンターへ！
- 早稲田キャンパス3号館2階にあります



ライティング・センターの様子

入口



室内



個別指導用ブース



Waseda University

セッションで扱うことのできる文 章

- 学術的文章ならば、どのようなタイプの文章も検討することができます！

例) 授業レポート
留学志望書
プレゼンテーション原稿
修士論文・博士論文
学術雑誌への投稿論文



- 一文字も書いていない段階からでも相談できます！



利用方法

- MyWasedaからのオンライン予約



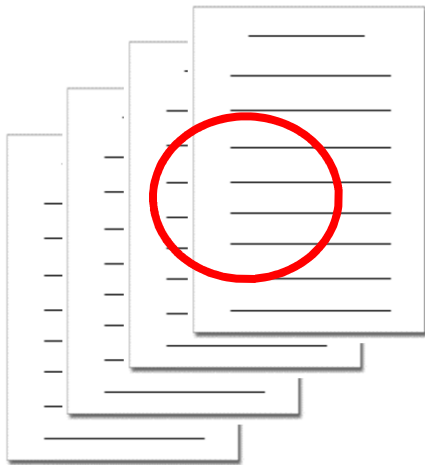
- 開室日時（授業期間中のみ）
月曜日から金曜日
10:40～17:15までの計8コマ（1コマ：45分）

※誰の予約もない、空いているコマがあれば、
事前に予約していなくても利用することができます
（直接センターに来て確認してください）



お願い

- ◇ ライティング・センター来室時には、
予め原稿を紙に印刷してきてください。
- ◇ USBメモリーやノートパソコンに保存
された状態の原稿は、扱うことができません。



皆さまのご利用を お待ちしております！

Official Homepage

<https://www.waseda.jp/inst/aw/>



@Waseda_AWP



Waseda University